

令和7年8月分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和7年8月分について、輸出額は「自動車の部分品」「自動車」などが減少したことから、対前年同月比6.2%の減少となった。また、輸入額は「金属鉱及びくず」などが増加したものの、「液化天然ガス」「石油製品」などが減少したことから、同4.4%の減少となった。

その結果、差引額は5,951億円（同7.9%の減少）となった。

名古屋港における差引額は、平成23年6月以降171カ月（14年3カ月）連続 全国港別（空港含む）第1位。

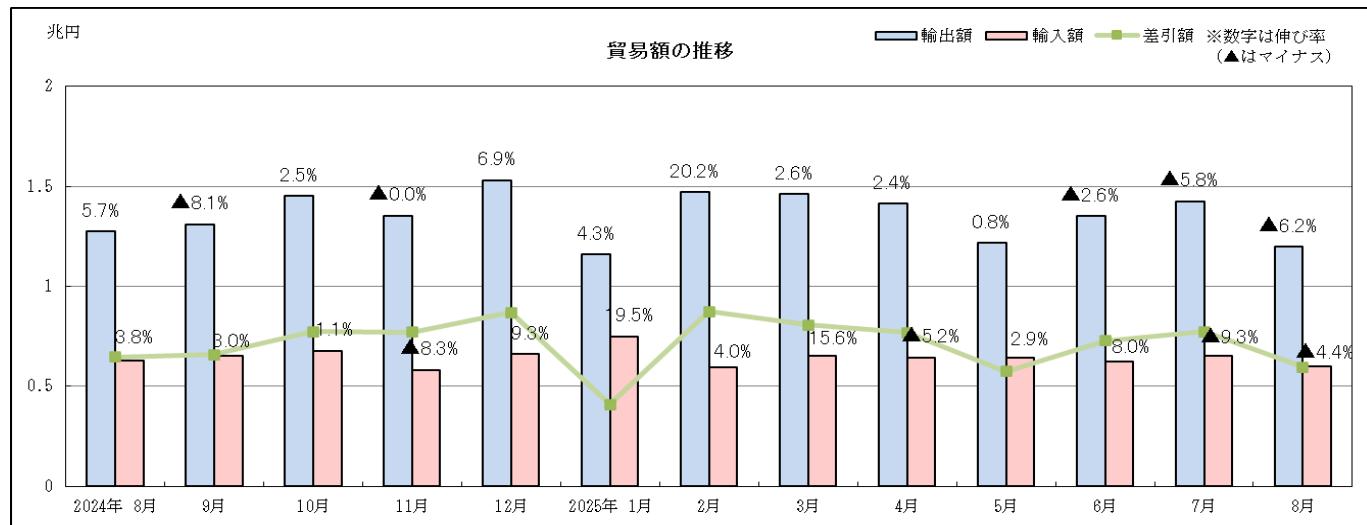
注) 本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年同月比による。

○総額

| 区分 | 輸出額 | 伸率 | 輸入額 | 伸率 | 差引額 | 伸率 | | |
|-----------|-------------------|---------|-------------------|-------|--------------|-------|-------|---------|
| 名古屋港 | 1兆1,966億円 | ▲6.2% | 6,015億円 | ▲4.4% | 5,951億円 | ▲7.9% | | |
| 3カ月連続の減少 | | | 2カ月連続の減少 | | 4カ月連続の減少 | | | |
| 順位 | 過去34位 | 8月として3位 | 順位 | 過去30位 | 8月として4位 | 順位 | 過去68位 | 8月として3位 |
| 管内（名港シェア） | 1兆8,479億円 (64.8%) | | 1兆0,906億円 (55.2%) | | 7,573億円 (—) | | | |
| 全国（名港シェア） | 8兆4,252億円 (14.2%) | | 8兆6,677億円 (6.9%) | | ▲2,425億円 (—) | | | |

○主な増減品目

| | 概況品名 | 金額 | 伸率 | 寄与度 | 増減 |
|---------|---------|---------|--------|------|----------|
| 輸減(1) | 自動車の部分品 | 1,389億円 | ▲17.4% | ▲2.3 | 6カ月連続の減少 |
| 出少(2) | 自動車 | 3,276億円 | ▲5.6% | ▲1.5 | 3カ月連続の減少 |
| 輸入増加(1) | 金属鉱及びくず | 113億円 | +70.3% | +0.7 | 5カ月ぶりの増加 |
| 輸入減少(1) | 液化天然ガス | 347億円 | ▲35.8% | ▲3.1 | 5カ月連続の減少 |
| 輸入少(2) | 石油製品 | 64億円 | ▲61.9% | ▲1.6 | 3カ月連続の減少 |



★名古屋港について・・・

本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の貯蔵場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。

名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諏訪出張所（含長野政令派出所）、西部出張所をいいます。